

平成 30 年 12 月

「平成 30 年 日本建築士会連合会賞 奨励賞」受賞

今般、当金庫本店が「平成 30 年 日本建築士会連合会賞 奨励賞」に入賞いたしました。

日本建築士会連合会賞とは、都道府県建築士会会員の総意と努力に満ちた建築作品を募り、特に秀でた作品については連合会ホームページ・会報誌等で紹介し、会員相互の技術を高めていくことを目的としているものです。

平成 30 年は 89 点の応募総数のうち、優秀賞 5 点、奨励賞 8 点、特別賞が 2 点選出されています。

「平成 30 年 日本建築士会連合会賞 奨励賞」は賞状をもって称えられるとともに、会報誌である「建築士」10 月号に入賞作品が掲載されています。

以上

奨励賞



及川直哉

設計担当者

及川直哉

東京建築士会、清水建設(株) 建築総本部 設計本部
プロポーザル・ソリューション推進室プロジェクト計画部

共同設計者

池田賢介

東京建築士会、清水建設(株) 北海道支店設計部

信用金庫 | 富山県高岡市守山町

高岡信用金庫本店



池田賢介

構造 | 鉄筋コンクリート造、
鉄骨造

階数 | 地上2階
(事務棟は地上5階建て)

敷地面積 | 2,793.36㎡

建築面積 | 1,861.62㎡

延べ面積 | 4,312.76㎡

竣工 | 平成29年4月27日



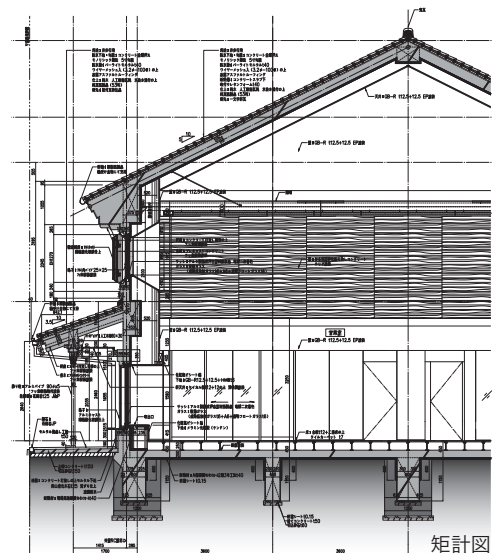
1



3



2



矩計図

- 1 ユネスコ無形文化遺産の「高岡御車山祭」とともに
- 2 高さ10mの無柱バンキングホール
- 3 車路入口(夜景)

写真2・3…小笠原岳/小笠原岳写真事務所

選評

建物が位置する富山県高岡市山町筋は平成12年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。その景観に寄与しつつ建築主の信用金庫本店機能を実現した。評価点はいくつかある。

まず、同地域の20世紀初期の土蔵を用いた銀行建築の特徴を写真資料等で綿密に復元考証したこと。これによって同筋の景観ルールであった切妻平入を主とした専一をアップデートし、建物に特徴な寄棟形式を実現させたことである。

次に、伝統的土蔵形式を鉄筋コンクリート造においても矛盾のない構造形式であることを示したこと。外壁には黒漆喰が大々的に採用されているが、コンクリートとの整合性も高い。

最後に、建築主、設計者、そして町に根付く見識が相乗的に作用し検討が行われ、結果的に街並みに溶け込み、よく利用されていることである。

伝統的建築形式の採用を単なる保存のための装飾にさせない意気込みが気持ちよい。同一敷地内にある事務棟、ギャラリーなど、他の建物との全体的連関や規模配分もバランスがよい。反面、裏方の平面や仕様については割り切りすぎたとも感じられたが、表側の完成度があるゆえであろう。総じて景観上も機能上も町の中で良好に機能し続けることを予測させる。

(中谷礼仁)